

マイアミでシップウォッチング

2024-3-23 事務局長 池田良穂

2009 年以來、14 年ぶりに現代クルーズ発祥の地マイアミにやってくる機会に恵まれました。本当は最新鋭船で世界最大になることになっていた RCI の「アイコン・オブ・ザ・シーズ」への乗船を考えていたのですが、半年以上前の時点ですでに満船に近くて高い部屋しか空いておらず、孫二人を連れての 4 人分の費用は目を剥くような価格で断念。23 万総トンの「オアシス・オブ・ザ・シーズ」のマイアミ発着西カリブクルーズを予約しました。

乗船前にマイアミ港の現状も見ておきたかったのですが、日曜乗船の予定ですが、木曜日夕方にマイアミ空港に到着する便で降り立ちました。中継地のヒューストンは爆弾低気圧で強風・土砂降りの天気でしたが、マイアミはまだ晴れ間がのぞいていました。

宿は、マイアミビーチの南端に近い海岸通りの一画で、マイアミ港の入口にも徒歩圏で、かつホテルの窓から出入港するクルーズ客船の姿が見える宿をインターネットで探し、コロニーホテルを選びました。マイアミビーチのアール・デコ歴史地区に位置して、各種の観光案内にもよく登場する小さなホテルです。3 階の部屋がオーシャンビューをうたっており、マイアミ港の入口にも近いので、シップウォッチングには期待ができそうです。

ホテルまでの途中、タクシーはワトソン・アイランドからマイアミビーチに繋がる海上道路を走行している時に、車窓からはドッジ・アイランドのクルーズ埠頭に停泊するクルーズ客船群と、出港する 2 隻のクルーズ客船の姿が見えました。NCL の「ノルウェー・ジェム」は港の奥に向かって航行していたので、入船状態で停泊して最奥部のベースで回頭して出港するようです。またマイアミ港の入口付近を RCI の「インデペンデンス・オブ・ザ・シーズ」が出港する後ろ姿も見えました。

ホテルにチェックインして 3 階の部屋に入ると、ちょうど同船が北に向かってビーチの沖合を走っているのが見えました。やがてほぼ反転して南に針路をとり、右舷側が夕日に輝いてよい写真が撮れました。シップウォッチングには最適な宿で一安心でした。この日は木曜でしたが、この 2 隻に続いて 2 隻が 18 時までに出港して、19 時を過ぎてから「セレブリティ・サミット」と「MSC ディビナ」が出港していきました。遅い出港となったのは、爆弾低気圧でマイアミに到着する航空機に遅延がでたためのようなようでした。



タクシーの窓から最初に見えたのは「ノルウェー・ジェム」でした。最初は、こんな時間に入港かといぶかしく思ったのですが、入船状態で停泊した同船が、最奥部の回頭用ベースンへと進んできた途中のようでした。



マイアミ港を出港する「インディペンデンス・オブ・ザ・シーズ」の後ろ姿がタクシーから見えました。



ホテルの3階の部屋から南に向かう「インディペンデンス・オブ・ザ・シーズ」の綺麗な姿が見えました。



まず出港した船は港を出ると北に針路を向けて進みます。



北にしばらく進んだ後、大きく南に針路を変えていました。海岸に林立する椰子の木の合間から船が撮影できました。



出港する「MSC ディビナ」です。19時を過ぎてかなり暗くなってからの出港でした。



この日のしんがりはセレブリティの「セレブリティ・サミット」でした。19時半をまわりかなり暗くなっていました。

翌朝、入港するクルーズ客船の撮影を楽しみにしていました。これまでの経験ではマイアミ港へのクルーズ客船の帰港は7時過ぎから8時にかけてが一般的で、いつもワトソン・アイランドから撮影していたからです。しかし、4時過ぎに起きてAISで調べてみると、すでに1隻は着岸しており、真っ暗の中を次々と入港してきて、まだ暗い5時前には、この日の入港船6隻がすべて着岸してしまいました。

しかたがないので、日が昇ってから港の入口まで行き、マリーナの横を通って橋を渡り、フィッシャーズ・アイランドの近くまで行き、停泊する船隊の撮影をしました。一番前が16万総トンの「フリーダム・オブ・ザ・シーズ」。ボーイジャークラスの船体を長くしたウルトラ・ボーイジャークラスの第1船で、17年前に家族で乗船した懐かしい船ですが、船体の色がRCIのクァンタム・クラスと同じ水色になっていたため、だいぶ印象が変わりました。6隻のうち一番奥の2隻が入船状態で、残りは出船状態で停泊をしていました。船が大型化して水路では回頭できないため、最奥部のベースで180度回頭して向きを変えます。



ドッジ・アイランドのクルーズ埠頭に停泊する6隻のクルーズ客船。前からRCI「フリーダム・オブ・ザ・シーズ」、NCL「ノルウェー・サン パール」、MSC「MSC マグニフィカ」、NCL「ノルウェー・サン」、CCL「カーニバル・コンクウエスト」、RCI「イクスプローラー・オブ・ザ・シーズ」。現代クルーズ業界の四強の運航する船のオンパレードでした。



上のクルーズ客船の撮影ポイントのすぐ近くにフィッシャー・アイランドへの住居者専用のフェリー基地があります。高級住宅地である同島の居住者がみずからが運航するフェリーで、使用人・貨物を運ぶフェリーとは別に運航されています。

2日目の夕方、16～18時の間に、マイアミ港に停泊していた6隻のクルーズ客船は一斉にカリブ海クルーズに出港していきました。爆弾低気圧がマイアミにもやってきたため、時々、雨も降り、沖合の船が見えなくなることもありました。強風が吹き荒れ、夜になってホテルの前の道路も冠水。賑やかな海岸通りに立ち並ぶレストランやバーも、この日早々に店じまいをしています。コンビニで購入したパンと果物で空腹を癒しました。それにしてもベッドボトルの500ccの水が500円、バナナが1本150円と高いのに閉口でした。レストランで食べれば1人5000円は取られるので、それに比べれば安いですが・・・。



最初に出港したのは「ノルウェージャン・パール」でした。雨が強くなって姿が霞んでいました。海も荒れ始めて白波がたっていました。





「カーニバル・コンクエスト」が北に向かい、やがて南に針路を変えました。



続くのは「フリーダム・オブ・ザ・シーズ」で、沖合に「カーニバル・コンクエスト」の姿が見えます。



「MSC マグニフィカ」の出港時には雨が強まり、姿がかすんでいました。



出港する「イクスプローラー・オブ・ザ・シーズ」(右)と沖合で針路を変えて南に向かう「MSC マグニフィカ」(左)



マイアミビーチの沖合を3隻のクルーズ客船が、てんでの方向に航海しています。



この日の出港船のしんがりは「ノルウェージャン・サン」でした。

翌日の土曜日には、期待の「アイコン・オブ・ザ・シーズ」が入港します。4時に起きてAISを調べると、すでに同船は着岸していました。続いてNCL「ノルウェージャン・ジョイ」、MSC「MSC シースケープ」、CCL「カーニバル・マジック」、「カーニバル・サンライズ」が入港してきました。

7時半に日が上がってから、並ぶクルーズ客船群の撮影に出かけました。前日からの豪雨は上がって、雨の間の短い晴れ間に遭遇して、綺麗な写真を撮ることができました。



手前から「アイコン・オブ・ザ・シーズ」、「ノルウェージャン・ジョイ」、「MSC シースケープ」、「カーニバル・サンライズ」、「カーニバル・マジック」が並びました。